

学校教育目標

夢・命・絆



須和田が丘

夢 に向かっていく生徒
命 を大切にする生徒
絆 を互いに深め合う生徒

令和3年度
学校だより No. 17
令和3年9月22日

市川市立第二中学校
校長 石田 清彦

ホームページ <http://www.dai2-tyu.ichikawa-school.ed.jp/>

前期通知表について

学校だより No.10 でお知らせいたしました通り、本校では、学習評価の時期（通知表をお渡りする時期）を前期、後期に分け、前期を10月（評価期間は4～9月）、後期を3月（評価期間は10～3月）としています。

前期通知表の具体的な内容は、次の通りです。

- 学習の記録
 - ・各教科の評価は、観点別の状況と評定により行います。
 - ・観点別の状況は「A・B・C」の3段階で表し、観点は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3点です。
 - ・評定は「5・4・3・2・1」の5段階で表します。
- 総合的な学習の時間の記録及び道徳科の評価
 - ・総合的な学習の時間は、具体的な活動内容を記載します。
 - ・道徳科は年間を通した評価としています。このため、前期の通知表では記載しません。
- 特別活動の記録及び行動の状況
 - ・特別活動の記録は、「学級活動」「生徒会活動」「部活動」「特記事項」に分け、具体的な活動内容を記載します。
 - ・行動の状況は、「○・空欄・△」の3段階で表します。空欄は「標準的」であることを表します。
- 総合所見
 - ・総合所見は、「年間総合所見」として、後期の通知表にのみ記載します。前期は、7月の三者面談で総合所見の内容をより深く、十分にお伝えしていますので、面談をもって記載に代えさせていただきます。

3年生については、高校入試の関係から、10月4日（月）に各教科の観点別状況及び評定を記載した「(仮)通知表」をお渡しします。年度当初にお配りした年間行事予定では、9月29日（水）に「(仮)通知表」をお渡りする予定でしたが、期末試験日に学級閉鎖を行った関係から、時期を遅らせていただきます。

なお、総合的な学習の時間の記録や行動の状況等を含めた「通知表」は、前期授業日数を学校で統一する必要があることから、1, 2年生と同じ10月22日（金）にお渡しいたします。

公開授業研究会

9月14・15日に、市教育委員会指導主事や他校の校長等を講師として、公開授業研究会を行いました。（今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、他校からの参観を中止し、校内の参観者数も制限しました。）

授業研究は、指導案の検討等を行ったうえで、互いの授業を教員が参観し、指導方法や学習形態等に関する協議を通して、より良い授業づくりと指導力向上を目指す教員研修の一つです。教員が協働して行う点に日本特有の特徴があり、OECDの報告書では「授業研究が日本の学校で指導の質の向上に貢献しているのは疑いない」と言っています。

本校の授業研究会でも、全ての授業において、「学びに向かう力」や「思考力、判断力、表現力」を育む手立てが、様々な形で具現化されており、これまでのこういった取り組みが、二中学生の、学習に意欲的に取り組む姿勢や、やるべきことに誠実に取り組む姿を育んできたのだと思います。

新しい時代に必要となる資質・能力は、「知識・技能の習得」に、「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力」と「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力」が結びついて育成されます。

今後も二中では、生徒の「生きる力」の育成に、真摯に取り組んでまいります。